

第4章 京成押上線（青砥～押上）

2023年1月20日（金）晴れ、東海大学病院の人間ドックフォロー後、時間を有効活用することから、総武線や京成押上線などを乗り継いで、青砥駅まで移動し、京成押上線（青砥～押上：営業キロ5.7km）と都営浅草線（押上～浅草橋：3.1km）のつたい歩きに急遽思いつき再挑戦する。これらの路線は2001年1月13日（土）に踏破済み（北国分～浅草橋：14.7km）であるが、駅舎写真や到着時刻に不備があるのが判明したので本日の歩きとなった。また、フコク生命時代、南林間～新宿～浅草橋～千葉ニュータウンと2001年1月～2005年3月まで長距離通勤した関係で懐かしい路線でもあった。しかし、本日歩きを通じ22年前の記憶は殆ど忘却していた。本日は後述の通り大回りとなったが、浅草駅に到着し、所吾妻橋駅は隅田川を挟んで浅草側ではなく押上側にあることを唯一思い出した。京成電鉄、新京成電鉄、北総鉄道の路線は、”日本横断歩き鉄の旅”PDF読本の第47編で執筆を予定しており、本日午後の時間をうまく活用し、その一部の整理ができホッとする一日となった。



※浅草橋駅



※乗り鉄で浅草橋駅と本所吾妻橋駅を撮影

本日の各駅舎到着時刻は次の通り。

青砥（13：00）～京成立石（13：20）～四ツ木(13:43)～八広(14:16)～京成曳舟
(14:37)～押上(15:08)～浅草(15:44)～本所吾妻橋(15:58)～浅草(16:12)～蔵前
(16:32)～浅草橋（16:40）

①青砥駅を種々のアングルで撮影後、高架下を歩き京成立石駅を目指す。この駅は4年3カ月で一度だけ途中下車し、職場の仲間と飲んだ懐かしい思い出が蘇る。13時12分、押上線を潜り鉄道の右側となる。工事中の京成立石駅には13時20分到着。丁度、押上方面の電車がやってくる。13時34分、遠くに東京スカイツリーが見えてくる。これからはスカイツリーを鑑賞しながらの歩きとなる。粋な下町風情が続く中で、13時36分、葛飾郵便局前を通過。13時43分、四ツ木公園前で上着を脱ぐ。13時51分、粋なスポーツアニメがデザインした四ツ木駅には13時51分到着。



※青砥駅



※青跡駅、京成立石駅への路



※京成立石駅



※粋な絵、葛飾郵便協、四ツ木公園前（スカイツリーを背後に）



※四ツ木駅

②四ツ木駅と八広駅の間には綾瀬川（万歩計で123歩）と荒川（853歩）があった。この川を渡ると八広駅（14時16分）があった。鉄道下を潜り、鉄道の右側となる。その先に京成曳舟駅（14時37分）があった。14時40分、肌寒くなったので上着をか

ける。14時45分、鉄道下を潜り、押上線の左側となる。スカイツリーが身近に見える。地下で京成押上線に加え、半蔵門線、東武線、都営浅草線が合流する押上駅には15時8分到着する。



※荒川越え



※八広駅、八広駅界限



※京成曳舟駅



※京成曳舟駅、東武亀戸線（この路線の登場により方向性を誤りそうになる）



※押上駅

以下都営浅草線の旅日記は割愛。